

## 東京支社の新型コロナウイルス感染拡大に対しての 希薄な危機感に申の再提出を検討!!

2月4日、「新型コロナウイルス感染症対策（その2）」に関する緊急申し入れの団体交渉を、JR東京支社で行いました。昨年12月25日に緊急提出した申2号です。猛威を振るっている新型コロナウイルス感染拡大に不安な気持ちに怯えつつ安全な輸送の確保に尽力している組合員に伝えるため、労使での認識を共有すべく団体交渉を行いました。しかし、現場で働いている人たちの不安を解消するための現状認識が一致できませんでした。

1. 新型コロナウイルス感染拡大(第3波)の現状認識を明らかにすること。

回答 新型コロナウイルス感染症対策を徹底することで、引き続き感染拡大防止に努めていく考えである。

2. ウィズコロナ及びポストコロナに対する職場への具体的な対応を明らかにすること。

回答 マスク着用や手洗い・うがい等の感染症対策を引き続き徹底していく。

3. 新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組みの内容を明らかにすること。

回答 社員のマスク着用や駅、車両の消毒・除菌など、様々な対策を講じている。

《組合》どのような対策を徹底しているのか。

《会社》各職場に手洗い・消毒の徹底と在庫が切れないようにしている。

《組合》他に対策は、ないのか。支社等での、テレワークや自宅待機はどのような実施状況か。

《会社》出勤率を抑える。テレワーク等の対策を2回取っている。業務やシステムで波はあるが、出勤5割にしている。

《会社》テレワークは、システムにより偏りがある。しかし、支社では12月からの出勤は、減っている。

《会社》非常事態宣言の延長したことでの対策の再徹底の文書も出している。

4. 新型コロナウイルス感染の疑いがあった場合のPCR検査又は抗原検査の費用は会社が負担すること。また、感染拡大(家庭内感染)の状況下において、感染拡大防止対策のために、希望する社員のPCR検査又は抗原検査費用を会社が負担すること。

回答 会社としてPCR検査等を受けさせるものではなく、関係機関等の指示によるものである。

《組合》現場社員は、不安の中で、国の重要インフラの輸送を確保している。大江戸線での、7割運行もあった、希望する者からPCR検査を受けさせるべきだ。

《会社》不安であれば、かかりつけの医院や保健所などの関係機関に相談して、その指示によりPCR検査を受けるようになる。また、PCR検査を受けても、すぐに(感染しているか)わからないし、治療ではない。

5. 新型コロナウイルス感染拡大防止に向けて対策の改善を図ると共に、感染拡大を想定して予め要員を最大限確保すること。

回答 新型コロナウイルス感染症の対策については、東京支社危機管理本部指示に則って取り扱っており、引き続き感染予防に取り組んでいく。なお、必要な要員は確保している。

《会社》支社との兼務で、乗務員約20名、車掌も約20名を持っている。

**2月27日(土)13時30分開会、第2回定期地方委員会の会場変更について  
 変更会場 ソシオ大宮3階 小会議室A (大宮区仲町2-71)**

大宮駅下車東口(南)高島屋の一本先を右折、大宮中部公民館を過ぎて右手のビル、徒歩9分。